PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 63224422 A

(43) Date of publication of application: 19.09.88

(51) Int. CI

H04B 7/26 H04B 7/26

(21) Application number: 62056520

(22) Date of filing: 13.03.87

(71) Applicant:

HITACHI LTD

(72) Inventor:

YAMAUCHI YUKIJI TSUKAMOTO NOBUO

(54) COMPOSITE TERMINAL FOR MOBILE COMMUNICATION

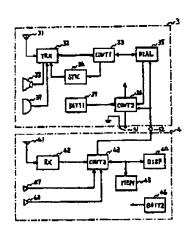
(57) Abstract:

PURPOSE: To save a battery by changing only a mobile terminal side, by constituting a device in such a way that a paging receiver is incorporated or installed loadably/unloadably freely on a conventional portable radio telephone system, and expect reception for an incoming call is performed by the paging receiver.

CONSTITUTION: A radio telephone set 3 is constituted in such a way that the paging receiver 4 can be loaded/unloaded freely on the set, and when they are used separately, they are operated as an independent radio telephone set 3, and paging receiver 4. On the other hand, when they are used after being connected, a switch 51 which tenses the loading/unloading state of the paging receiver is closed when loading the paging receiver, and based on the above state, the power source control part 36 of the telephone system stops power supplying to a transmission/reception part 32, a control part 33, and a frequency synthesizer 34 in the radio telephone set 3, and stop the operation of the expect reception of the radio telephone set 3. Also, the power to every part in the paging receiver is always supplied, and the paging receiver always performs the expect reception. Since the paging receiver is a receiver of

pocket bell system, it is possible to realize the expect reception with remarkably low power consumption by using an intermittent reception system.

COPYRIGHT: (C)1988,JPO&Japio



⑩ 5 本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

⑩公開特許公報(A)

昭63-224422

⑤Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑩公開 昭和63年(1988)9月19日

H 04 B 7/26

109

6651-5K 6651-5K

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

母発明の名称 移動通信用複合端末

②特 顯 昭62-56520

@出 類 昭62(1987) 3月13日

位発明者 山内

雪 路

東京都國分寺市東恋ケ龍1丁目280番地 株式会社日立製

作所中央研究所内

勿発明者 塚本

信 夫

東京都國分寺市東恋ケ窪1丁目280番池 株式会社日立製

作所中央研究所内

愈出 願 人 株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駛河台4丁目6番地

郊代 運 入 弁理士 小川 勝男 外1名

ar 24 38

1.発明の名称

移動通信用拟合蜡末

- 2. 特許請求の報題
 - 1. 適信地域を複数のセルに分割し、それぞれのセルに無線器地局を配置したセルラ形移動通信 方式に用いる排作用無線電話装置において、これとは独立に動作するページング受信機を上記 無線電話装置に内蔵、もしくは常規自在に装着して構成されたことを特徴とする移動通信履復金組金。
 - 2. 第1項記載において上記ページング受情機と上記無線電話機を接続した状態にあつては上記 携帯用無線電話袋裏の符を受け受信を停止させ、 分蔵した状態であつては符を受け受信の停止を 解除させるべきスインチ形数を設けたことを特 数とする特許研究の範囲第1項記載の移動過代

たは全部を上記機等用無線電粉製機約へ伝送する手段を設けたことを特徴とする特許がの職 関第1項記載の移動監偽用複合的末。

3. 発明の辞細な誤明

(廃業上の利用分野)

本発明は移動通信複合端末に係り、特に組他により適用される機形用無線電器装置に好遊な複合 端次に関する。

〔従来の技術〕

従来のセルラ形移動通信方式では、通常角域を 複数のかゾーンに分削し、各ゾーン等に異なった 関数数の過話チャネル群と、呼出し割御チャネル が設けられ、各移動端末においては着信呼に対応 するため、呼出し制御チャネルを常時符ち受け受 借する必要があった。このため各種動給末の消費 電力を低減することが難しく、根帯形の無線電話 装置においては電池の小粉化が困難であった。

特間昭63-224422(2)

るセービング専用の制御チャネルを設け、このチャネルを確久交信することでパンテリーセービングを図る方式が示されている。

(発明が解決しようとする問題点)

上記徒来技術によればバッテリーセービングの目的は一応達成されるものの、セービング用の特殊な無格チャネルを各々(小ゾーン)内に設ける必要性を育し、周波数要減の哲要がひつ達している昨今においては周波数要減の容易利用という戦点からは問題があつた。また、優存のセルラ形移動通信方式に変更を加える必要を有していた。

本発明の目的は底谷の移動通信方式に初別な変 更を加えることなく、移動端末側のみの変更によ つて上述のバッテリーセービングを関ることにあ る。

(問題点を解決するための手段)

上記目的のため、本意明においては従来の携帯 用無線電話製匠にページング受信機を内蔵、もし くは者説自在に装着させ、着信呼に対する待ち受 は受信はページング受信機に行わせるよう移動道

新機の外間、2はページング受信機の外観を示す。 類2回は本発明による移動通信用複合輸来の一 実施例のブロック語を示したものである。回回に おいて、3は無常所機、31は電影機用アンテ ナ、32は逆受傷部、33は地話創御部、34は 助数数シンセサイザ、35はダイヤル部 地数シンセサイザ、35はダイマル部 地域の電調例御ぶ、37は電数 はスピーカ、39はマイクロ水ン、4はページング がはスピーカ、39はマイクリカテナ、42 はスピーカ、39はマイクリカテナ、42 はスピーカ、39はマイクリカテナ、42 はスピーカ、39はマイクリカテナ、42 はスピーカ、39はマイクリカテナ、42 はスピーカング受信機用を他、67はダイ

頭3 國は本務明による機器用額合約未裝置を用

ヤル情報の転送構示スイツチ、48はダイヤル情

程の破棄借示スイツチ、51はページング受信機

の希脱状期を際知するスイツチ、52は微報品源

用コネクタである。

億用複合解求を構成した。すなわち、魏帝恩無線 世話題翼は通常待ち受け受信を行わず、ページン グ受信機により若呼を知る方式とした。

なお本番明に用いるページング受益機としては、 早出先の電話番号等を要示できる扱示何ページャ が効果的である。

【作用】

以上説明した移動通信前級合格米を用いれば、 健果の無熱通信システムやページング通信システムを変更することなくページング受信機を内隔も しくは搭載した状態においては、誤習用無線電話 数量に持ち受け受信をさせる必要がなく、限電話 報覧のパンテリーセービングに効果がある。

(除故學)

以下、本意明の実施制について健康を参照しながら終期に説明する。

第1.図は本発明による移動通信用複合約束の一 実施例の外報を示すものであり、銀帯用無線電話 観視(以下無線電話機と増す)とページング受証 機とを登脱自在に構成した例である。1.は無線電

2個に示したものに等しい。また、7は移動通信 刺弾局、71は公務間語回線、72~74は無線 配語店膳局、8はページング情号送信局、81は ページング信号、82は無線電話信号である。

次に、本実的例の動作を詳細に説明する。

特開昭63-224422(3)

裕政戦力で待ち受け受信が可能である.

第3国において公衆回線71から上記復合解末6に対する呼が生起すると、移物通信制部局7はまず無級難請為地局72~74に対し、一斉呼出しを指示する。各無線務地局72~74粒にれを受けて、各々が管轄するセル内に上記複合物次3に対する呼出し信号82を送出する。

一方、上記被合端末6においては、ベージング 受信機4を接続した状態にあるとすれば、機線電 話機3は体止状態にあり、この呼び応答すること ができない。性力で発酵をもしくは移動通信制御 局では、一定時間程過程数額合摘束6が休止して いる事を維り、次に呼吸を構造のが外の過程の があるいは移動通信制御 アが自動で行っても よい、上記複合輸来に対するページング信号 8 1 はページング信号送出局 8 から透信される・

上記ページング信号 8 1 を受信したページング 受信機 4 は潜信呼があつた事を音、光等の手段に より加入者に報知すると共に、受信したページン グ情報を一見、ページング情報メモリ45にスト アする。なお本発明にかかるページング信号とし では、雅呼者の電話指号率がページング情報とし て送信されることを想定している。

ところが、本発明による複合端末においては無

線磁話機 3 が背時待ち受けを行っていないため、 例呼に光立ちまず自身が第 3 図の無線接絶局 7 2 ~ 7 4 のいずれのサービスゾーンに位置するかを 切る必要がある場合も考えられる。このような時 は次に述べる手順で自身の所蔵ソーンを判断する。

 次に上記無線電話機3は改めて発呼要求信号を 無線接地局に送出する。以後の発導接続非照は従 来の自動器電話方式と問等であるから貨幣する。

なお、以上の手順は相手からの着得呼に対し応答する場合であるが、応答する必要のない呼であると利明した場合は、ページング信号受信時点で、ページング情報の転送相景スイッチ47を押下する代わりに、ページング情報の破楽指示スイッチ48を押下し、ページング情報メモリ45をクリフすれば良い。

第4回は上述の複合約末において、無線性誘機 内の電池収納部を工夫し、大彩の電路37eか、 もしくは小形の電池37bとページング受信機2 の組み合わせのいずれか片方を電池収納部に設着 できるよう構成した一実施例の外観を示すもので ある。銅圏に示す網成を用いれば、ページング受 信機による長時間の特を受け受信を可能にするか、

特開昭63-224422(4)

以上説明したもの以外にも、特許解求の報明』 に記載した通り、ページング受情機を無線電腦機 に内積し、一体構造にすることも可能である。こ の場合の動作も簡繁発展式の数合案末と関機に行 うことができる。

(発明の効果)

以上、説明の選り本発明によれば、携帯用無線 電話の符ち受けに関して無線電話機合身が待ち受 け受信を行う必要がなく、パンデリーセービング に著しい効果を養する。また符ち受け受信そのも のはポケツトベル等のページング受信機が行うた め、岩平の時間超延はともなうものの、着情呼は 確実に別人者に保護される。

次に本複合端末を接脱式に構成すれば、通常の 無線電輪機としても、パンテリーセービングを行う複合端束としても利用でき、使用者の必要に応 じ自由な組み合わせが可能である。

また本複合端末内にベージング情報の伝達手段を設けた事により、ページング呼出しを受けた際呼出し元へ一を数で発呼が可能であり、その対象

たに関しては健康の無線電話機を単独で使用する 場合に比べ遊色がない。

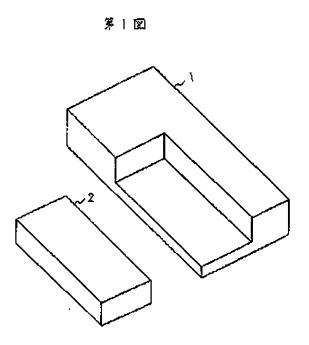
きらに本複合端末に係る無線通信方式は表々、 従来のセルラ港移納通信方式、ボケットベル呼出 し方式と何ら殺るところがなく、論案のみの愛更 であるから傾めて容易に導入可能である。

4. 瞬間の簡単な説明

第1回は本発明の一実設例の外機、第2回はそのプロンク解題、第3回は本複合端次を用いたシステムのプロンク線図、第4回は可能収納部を示したもの表した本複合検索の一変機関の外側を示したものである。

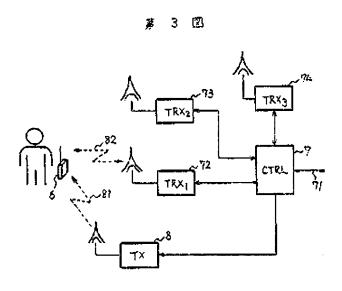
3 … 機線電影機、 4 … ページング 受信機、 3 5 … 電源制御郎、 4 5 … ページング 辞報メモリ、 5 1 … 看脱試態機器 スイツチ、 5 2 … 情報 伝達コネクタ、 6 … 複合箱末数盤、 7 … 刻御局、 7 2 ~ 7 4 … 無線基格局、 8 … ページング 信号送信局。

代理人 弗理士 小川勝男

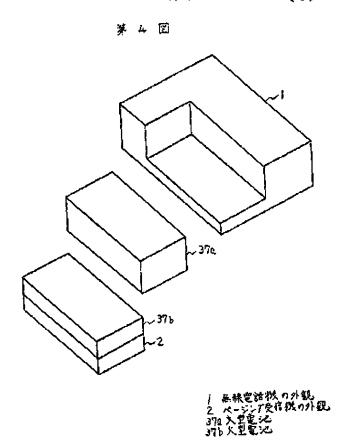


3 是绿色粉挑 ...

特開昭63-224422(5)



6 模合端米装置 7 翻柳房 8 ページング信号送作局 7! 公衆電話四級 7! 公衆電子送付回報 8! ページング信号 8! ページング信号 82 無線電話選馬



特開昭63-224422

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載 【部門区分】第7部門第3区分 【発行日】平成6年(1994)8月19日

【公開番号】特開昭63-224422 【公開日】昭和63年(1988)9月19日 【年通号数】公開特許公報63-2245 【出願番号】特願昭62-56520 【国際特許分類第5版】 H048 7/26 109 7304-5K

手 嬔 袴 正 零

平成 年 7月 2日

特牌疗点官 段

事件必要示

烟和 6 2 年 稿 春 顧 序 5 6 5 2 0 号

発 弱 の 名 み 移動速信用数合物末

構正をする石

事件との開係 券 許 宮 類 人名 参 (510) 株式会社 日 立 裂 許 所

保 理 人

電 宗 〒100 東京都干代日医丸の内一丁53番)号

精 正 の 対 象 明知者の「特許常求の創選」及び 「常明の終相な説明」の包。

御正の内容

1. 本額特許時水の鎖囲を別級のとおり補正する。

2、水製明燈器の後3点後30行品の象別に「は」を「け」と紹介する。

wa.

特許防水の範囲

上、無条電流鉄地局との間の欠益機能を強えた機器で減減電路装置と、ペープング受信機とからなり、上記ページング使帰機が上記無機電路装置に内蔵もしくは 役員自在に装着され、鉱ページング受得機によって上記鉄線電路製造に対する特 も受け受付を行うようにしたことを特徴とする姿動物信用数合効素。

2. が記ページング受性機が対ち受け受性が関中は関節的級系数を選における的 情様心を把土しておき、ユーザ操作に必答してよ過かを機能を選択的に関盟させ を格事制御手収を引えたことを発展とする第1項に記載の移動機使用複合期本。 三、前間ページング栄健業で気仰しミページング酸級の少なくとも1四を助記所 概能洗練罐に転送し、数報送情報を利用して発好動作な行うようにしたことも称 物とする第1項に記載の移動地信用後令期来。

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:	
	□ BLACK BORDERS
	☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
•	FADED TEXT OR DRAWING
	BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
	☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
	☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
	☐ CRAY SCALE DOCUMENTS
	LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
	REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
	□ OTHER.

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.